

伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念事業実行委員会

令和 7 年度事業計画

1. 事業の概要

(1) 次世代につなぐために

伊勢志摩国立公園のかけがえのない魅力を後世に引き継いでいくことを目的として、大学生および小学生を対象に「いま、伊勢志摩にいるからこそできる”経験”」を通して伊勢志摩国立公園を感じ・探し・伝えていきます。

① ふるさと教育ツールの開発・展開

伊勢志摩国立公園の自然や歴史・文化を現地で学びながら、小学生向けの「ふるさと教育ツール」を開発・作製し、次年度に子どもたちに届けます。(皇學館大学 CLL 活動)

② 自然体験

伊勢志摩に暮らす子どもが、保護者とともに伊勢志摩の自然を肌で感じ、地域の自然と文化の価値を再確認できるような体験イベントを実施します。

③ (仮)「ふるさと探求！国立公園教室」の実施に向けた準備

次年度事業として検討している小学生を対象とした(仮)「ふるさと探求！国立公園教室」の具体的な計画を策定するための調整を進めます。

(2) エコツーリズムの理解促進と磨き上げのために

エコツアーに参加する機会を創出し、エコツーリズムの理解促進に努めます。また、エコツーリズムの質を高め定着させることを目的として、伊勢志摩の自然や歴史・文化の豊かさを紹介する映像を作製します。

① 親子体験イベント

小中学生とその保護者を対象に、カヤックツアーなどのツアーイベントへの参加機会を提供し、自然にふれることを通して子どもや地域の人々の環境意識を育みます。

② 映像作製

エコツーリズムの現場の様子を交え作製し、取り組んでいる事業者のスキルアップと、今後取り組もうとする事業者の理解促進と参画機会を提供します。

(3) 環境への取り組みを広げるために

伊勢志摩国立公園での様々な環境への取り組みの中から、調理残差の資源化や海岸清掃などに取り組む事業所(宿泊施設)の「海の環境に優しい取り組み」を現地で取材し、情報発信することで、取り組みの一層の広がりにも寄与します。(皇學館大学 CLL 活動)

① レポート

この体験を通して感じる伊勢志摩の“海とつながるまちの在り方”などについて、式典の場での発表やSNS等での情報発信を行います。

② チャレンジ

SDGsに取り組む活動発表の場へエントリーするなど、伊勢志摩における環境活動を発表する機会の確保に努めます。

(4) 機運醸成のために

指定80周年を翌年に控え、その機運醸成を図ることを目的として、伊勢志摩の魅力を情報発信するとともに80周年記念事業を広く周知します。

① 帆船「日本丸」の誘致

帆船「日本丸」を誘致し、航行する雄姿を地域住民に見てもらうことで記念事業をPRすることや、子どもたちが体験乗船できるよう調整を進めます。

② PR大使の任命

鳥羽水族館のラッコの「メイ」を指定80周年記念事業のPR大使に任命し、子どもたちの事業への関心を高めるとともに幅広い年齢層への事業の浸透を図ります。

③ Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園イベント拡大版

これまでの「Happy birthday! 伊勢志摩国立公園」事業に加え、長年にわたって貢献されてきた石原円吉賞受賞者の皆様の想いをお話しいたします。

④ 広報媒体の作製

・記念ロゴマーク、ポスター、パンフレットの作製と、関係者の想いを発信するランディングページを作製し地域や家庭等への情報の浸透を図ります。